

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成31年4月25日(2019.4.25)

【公開番号】特開2019-37469(P2019-37469A)

【公開日】平成31年3月14日(2019.3.14)

【年通号数】公開・登録公報2019-010

【出願番号】特願2017-161762(P2017-161762)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成31年2月13日(2019.2.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技を行うことが可能な遊技機であって、  
演出表示手段の表示制御を行う表示制御機能を有する制御手段と、  
前記制御手段の温度を監視する温度監視手段とを備え、  
前記制御手段の温度が所定温度に達したことに応じて第 1 制限モードに制限可能であり、  
前記制御手段の温度が所定温度よりも高い特定温度に達したことに応じて第 2 制限モードに制限可能である

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

(手段 1) 本発明による遊技機は、遊技を行うことが可能な遊技機であって、演出表示手段(例えば、演出表示装置 5)の表示制御を行う表示制御機能(例えば、VDP 機能)を有する制御手段(例えば、演出制御用 CPU 120)と、制御手段の温度を監視する温度監視手段(例えば、温度センサ 136)とを備え、制御手段の温度が所定温度に達したことに応じて第 1 制限モードに制限可能であり、制御手段の温度が所定温度よりも高い特定温度に達したことに応じて第 2 制限モードに制限可能である(例えば、演出制御用マイクロコンピュータ 120A は、ステップ S 101 ~ S 118 を実行し、演出制御用 CPU 120 の温度が 60 ~ 70 となると第 1 制限モードに移行し、演出制御用 CPU 120 の温度が 71 ~ 94 となると第 2 制限モードに移行し、演出制御用 CPU 120 の温度が 95 以上となると第 3 制限モードに移行する)ことを特徴とする。そのような構成によれば、表示制御機能を有する制御手段のより適切な熱対策を実現することができる。

。